



佐賀県立唐津南高等学校

サフランプロジェクトチーム 救え!上場のサフラン生産量向上を目指して

サフランの栽培方法を確立させるため、生育調査を行いました。次に、鎮西町の圃場でサフランの定植をし専門的な栽培技術を学ぶことができました。また、玄海町の「きてろ祭」に参加し小さな子どもを対象とした「サフラン栽培キットづくり体験」を開き栽培方法を伝えました。



熊本県立水俣高等学校

みなまたオイスタープロジェクトチーム 水俣で牡蠣の最適養殖地を見つけよう!

漁業の衰退という地域課題解決のため、水俣湾での牡蠣の養殖に最も適した場所を見つけるプロジェクトを行っている。今年度は水深によって生育がどのように変化するかという実験を水温や栄養塩濃度との関係を考察しながら行っている。水俣の良さ、美味しさを全国の人に届けたい。



熊本県立南陵高等学校

総合農業科環境コース林業専攻 復興!「がんばろう!人吉・球磨」～地域資源を活用した木育活動で甦る、元氣と笑顔と活性化の輪～

『木育』と『災害に強い森づくり』に取り組んできました。避難所や仮設住宅から始めた木材を活用した本活動は、延べ10,000人を超える参加者の笑顔を生み出しています。これからも支援への恩返しを気持ちを含めて活動を続けていきます。「がんばろう!人吉・球磨」を合言葉に。



熊本県立熊本農業高等学校

養豚プロジェクト 養豚業のゼロエミッション#産業廃棄物に輝きを

エコフィード開発により廃棄物ゼロを目指してきましたが、豚脂や分娩時に排出される胎盤が廃棄されていました。そこで、マッチングサイトを開発し、食品企業と畜産農家のマッチングに成功。高洗浄力で環境に優しい洗濯石鹸も完成。養豚業のゼロエミッションを達成しました!



熊本県立宇土中学校・宇土高等学校

SSターンオーバー研究班 ターンオーバー現象が環境に及ぼす影響

溜め池のヘドロを活用する取り組みを行っています。秋になると、溜め池の水質が急激に悪化し、異臭がするターンオーバーが発生。ターンオーバーの発生条件や、環境とのかかわりを知ること、ため池にたまった栄養度の高いヘドロをうまく活用していきたいと考えています。



長崎県立諫早農業高等学校

食品科学部 「もったいない」から始まる地域活性～規格外からブランドへ～

江戸時代から栽培されている「そのぎ茶」を新幹線開業と合わせ、地域活性をめざし新商品開発を行った。本活動は規格外の茶・馬鈴薯・人参をJAなどと協働で栽培から加工、流通までの流れを作り、新商品の開発・販売・普及活動を行い、地域活性に貢献に成功した。



長崎県立諫早農業高等学校

諫農バイオ園芸科 厄介者で地域の環境改善～放置竹林の農業活用をめざして～

放置竹林削減のため、竹の農業活用について研究を開始しました。仮説と検証の結果、竹に含まれる有効成分が水溶性であることを突き止めました。農家では馬鈴薯のマルチ栽培に実用されています。また、馬鈴薯ソウカ病の抑制にも効果が確認され、研究を行っています。



長崎県立対馬高等学校

ユネスコスクール部 「国境の島・対馬」における環境保全活動

「ツシマウラボシジミ」という対馬固有亜種のチョウの保護に取り組んでいる。今年度も島内の中学生と、幼虫の食草約100株を国有林の保護区へ植栽した。また、海岸清掃も自ら企画、運営して行っている。その他、オウゴンオニユリの栽培も行い、花を咲かせることができた。



長崎県立五島高等学校

五島高校 情報科学部 かなだも～ず 五島高校を取り巻く水環境の調査に基づいた環境保全策に関する提案

お濠の水環境の改善に向け多様な豊かな水場を維持するため、ホテイアオイの駆除に取り組み、環境省絶滅危惧種Ⅱ類指定「コウホネ」の復活へ繋げることができました。重点対策外来種のおオカナダモも繁殖。駆除以外の有効活用について研究に取り組んでいます。



鹿児島県立市来農芸高等学校

クリケッターズ 家畜昆虫コオロギで環境と経済にエコ

薩摩鶏の研究から飼育時に環境低負荷であるコオロギに着目し、飼育管理と採卵鶏への給餌実証試験を行っています。飼料費を削減しながら、通常と同等以上の鶏卵生産を目指して、採卵鶏での実証試験も行い、自作したコオロギの飼料でも卵を生産することに成功しました。



鹿児島県立霧島高等学校

ESD研究班 「浮かぶボール」の工作体験提供～次世代がともに取り組む創造力を～

アルミ缶で正二十面体のボールとし、ペットボトルにストローを取り付けて息を吹き込むことでペットボトル内のボールが浮き上がる現象を体験できる工作体験を提供。次世代人材育成への取組みとして近隣の小中学校や科学館で技術の提供を継続している。



沖縄県立北部農林高等学校

エコ部 美ら島地域応援プロジェクト～未来へつなぐゆいまーるの木～

日本で一番早く開花する沖縄の桜ですが、近年立ち枯れや老木が目立ちます。そこで、「未来へ残せ、沖縄の美ら桜」をテーマに、北農さくらプロジェクトを立ち上げました。研究、植栽活動を地域と連携し沖縄の桜を守るため、市民、同窓会を巻き込んで取り組んでいます。

